

# 第1回 江戸前勉強会の書き込みサイト

このページは、江戸前勉強会のワークショップで、皆さまからの意見を投稿していただくために準備したものです。勉強会が始まりましたら、書き込めるページに進みます。

# 今の東京湾を一言でいうと？

多様性が減少しつつある東京湾  
黒い海（飛行機から見ると、東京湾の色が青くない）

アクセスしづらい東京湾  
変化している東京湾  
感心を持ってくれない  
一言で言えない東京湾  
あこがれの  
人と離れた東京湾  
さまざまな問題を抱える  
わくわく  
ごちゃごちゃしている

生物が一生を全うできない東京湾  
たくさんのシステムが関係している  
いろんな環境がある東京湾  
意外と豊かすぎる  
赤潮がある東京湾  
身近な 濃い緑  
努力している割に水はきれいにならない  
意外と豊かな東京湾  
以前よりは綺麗になった  
遠い東京湾  
日常生活からかけ離れたところ  
思ったよりサカナがいる！  
近くて遠い東京湾

疲弊した  
良くなりつつある東京湾  
いつも茶色い  
都市に囲まれた東京湾

美味しい海産物への魅力が少ない海  
干潟・浅瀬が無い（生物の保育施設がない）  
景色がきれい  
よくなっていると勘違いされている東京湾。

実態が掴みづらい  
シャコ、採れない

# どんな東京湾にしたいですか？

豊かな海（青い海、生きもの賑わう海）  
 食べ物採れる  
 美味しい、安心して食べられる魚介類が採れる海  
 貧酸素水塊のない東京湾 身近な東京湾 簡単にアクセスできる東京湾  
 楽しい 青潮、赤潮の起きない東京湾  
 みんなが集まる  
 お金を使わなくとも憩える海岸  
**遊べる東京湾**  
 命にぎやかな東京湾  
 みんなの好きな  
 人と海の距離が近い東京湾  
 海底が見える 泳げる  
 海底が見える海  
 美しいではなく、豊かな東京湾 基礎情報が共有できる東京湾  
 過去の情報が豊かな東京湾

生命あふれる  
 生物の豊かな  
 社会と自然が共存できる  
 儲かる  
 身近な  
 酸素がいっぱいな東京湾  
 多様性を生かせる  
 持続する  
 自慢できる東京湾  
 水に触れる東京湾

# 東京湾の現状認識と期待について

楽しく遊べる環境が、たくさんある

儲かる

個々の活動が協力しあえる

自由に海に入れる東京湾であって欲しい

産業と自然のバランス（漁業、鉱工業、観光業、生物多様性、CO2・・・）のモデル海域

東京湾に接する あるいは触れる機会やシステムを構築して欲しい

東京湾の保全を進めるための、横断的な組織、保全計画が必要ではないでしょうか。

晩御飯を調達できる！

立入禁止の場所が多い。水際が市民に開放される海になって欲しい。

# 東京湾の現状認識と期待について

現在の港湾機能と干潟などの自浄作用のバランスがとれるようになってほしい

見ても美しい、食べ物を拾える東京湾！

新鮮な魚介類が獲れて（だから漁業が継続出来て）、湾岸地域で買って食べることができる（扱う流通小売がある）といいですね

浜や磯があり、手足を浸して水遊びをしたり、ベントスを探して触れることができるところへ簡単にアクセスできる海であって欲しい。魚やさんで、東京湾産に安心して手を伸ばせる海であって欲しい。

まずは市民が東京湾に親しめることが大事。

東京湾の夜景が好きなので、その夜景を見ても罪悪感などが湧かないような東京湾になってほしい

川の事業と海の事業の連携強化！

下水道臭がしない海

現在は港湾のための海というイメージが強いので、漁業も盛んに行われ、漁獲物が抵抗なく消費されるような海になってほしい

# 東京湾の現状認識と期待について

東京湾の環境は東京湾のみで完結していないことを知ってほしい。

湾全体というより地域で住民が主体的に沿岸域管理にかかわることができるといいですね

環境再生が世界に誇る東京湾

各コメントに「いいね」をつけたい！

近年、東京湾沿岸で生物を大量に捕獲している方々をしばしば見かけ、悲しく思っております。豊かな自然のバランスを崩さないように、何か対策が出来ないかと思えます。

海水浴がしたくなる東京湾。東京湾を眺めるだけでなく、東京湾の海をもっと体験できる、体験したくなる場にしたい。

もう少し生活に身近で親しみやすい海であってほしい。自分の居住地域だと不法投棄だの密漁だの青潮で死んだ魚貝が臭うだの負の印象の方が大きい気がします。

近年、漁師さんが獲る魚介類が減ってきていますが、以前の豊かな東京湾を復活させて、たくさんの人に江戸前の美味しい魚介類を食べて欲しい！

近所の子どもや、中高生の移動範囲内に海があると良い。各地に所々に自由な海があると良い。

# 東京湾の現状認識と期待について

湾岸企業さんが、企業岸壁の一部を市民に解放してくださるようになれば、海辺へ近づけるところが増えると思います。電車やバスで、住まいから日常的に行ける地域、例えば、埋め立て地間の水路や比較的湾奥部が望まれます。

東京湾学習を学校の授業に入れましょう。学校機関との連携が必要。

チャットにも追加意見がありますね

必要の無い垂直護岸をなるべく自然護岸に戻して行けると良いと思います。

防災と環境のバランスを踏まえた水際線の在り方を考えたいです。

娘が安心して孫を海に連れていきたいと思う東京湾

まずは、どこが入ってよくてどこが入っちゃダメなところとわかりやすくしてほしい！

水や食べ物を通じてつながっていることを1人1人が意識できるような環境学習が必要。、